

日本看護歴史学会 會報

日本看護
歴史学会
第60号
2013年7月15日

日本看護歴史学会 第27回学術集会の開催にあたって

学術集会長 岡山寧子（京都府立医科大学）



日本看護歴史学会第27回学術集会は、2013年8月31日（土）・9月1日（日）、京都府立医科大学（京都）で開催させていただくこととなりました。京都開催は6回目、その最初は、京都市立看護短期大学での第1回大会（1987年）でした。その時の様子を伝える会報（創刊号）をみますと、当時代表幹事の亀山美知子氏が「…この息吹を忘れることなく、会の成長を共に育てて参りたいものです。」と述べています。その後、研究活動を中心に、広く看護の歩みを伝える活動がすすめられました。あれから四半世紀が過ぎ、本学会の発展を実感せずにはいられません。この間の日本の看護界は多くの課題に挑戦し、社会にどのような貢献ができるのかを模索しながら歩んできた感があります。この変化を史実として蓄積し、検証することが看護の発展に繋がるものだと思います。その意味でも本学会の役割はますます大きくなっていくでしょう。

そして今、京都から何が発信できるだろうか…そんな視点に立ち、本学術集会では「京都発、近現代における看護の礎を探る」というテーマにさせていただきました。明治時代から現在に至る京都における看護の足跡からその礎を探っていただければと

考えました。また、今年のNHK大河ドラマ「八重の桜」の主人公新島八重についての講演を予定しております。

1日目のプログラムでは、京都府立医科大学広小路キャンパスにて会長講演・特別講演・教育講演をはじめ、一般演題、テーマセッション・ワークショップ等を予定しています。特別講演では、藤田哲也先生（元京都府立医科大学学長）から「明治維新と日本近代医学のあけぼの—京都府立医科大学の創設をめぐる—」と題して、明治維新の頃の医療について京都府立医大の発展を交えてご講演をいただく予定です。教育講演Ⅰでは、滝下幸栄先生（京都府立医科大学）から「明治期の看護教育—京都療病院の看病婦たち」を、教育講演Ⅱでは、植村小夜子先生（滋賀県立大学）から「京都における看護の高等教育始動—京都市立看護短期大学設立過程と創設時の教育—」をお話しいただきます。その後、皆様の研究発表（口演・示説）や交流セッションの他に、理事会主催のセッション、ワークショップ等を計画しております。

2日目は新島会館に会場を移して、本井康博先生（元同志社大学）に「新島八重の生涯—大河ドラマのウラ・オモテ—」を、また川原由佳里先生（日本赤十字看護大学）には「篤志看護婦人会と新島八重」と題して彼女と看護の接点をご講演いただきます。彼女の夫新島襄が設立した同志社大学は御所北に、新島旧邸は御所東にと、いずれも府立医大のすぐ近くですので、学術集会の合間に散策することをおすすめいたします。多数のご参加を心よりお待ちしております。

第27回学術集会プログラム

日 時：2013年8月31日(土)・9月1日(日)

会 場：京都府立医科大学広小路キャンパス、新島会館

テーマ：「京都発 近現代における看護の礎を探る」

| 日 時 | | プ ロ グ ラ ム |
|--------------------------|-------------|---|
| 8 月 31 日 (土) | 9:35～10:15 | 【会長講演】 「宣教看護婦リンダ・リチャーズが京都で実践した看護教育」 岡山寧子（京都府立医科大学） |
| | 10:20～11:10 | 【特別講演】 「明治維新と日本近代医学のあけぼの」 －京都府立医科大学の創設をめぐる－ 藤田哲也（京都府立医科大学元学長） |
| | 11:15～12:05 | 【教育講演 1】 「明治期の看護教育－京都療病院の看病婦たち－」 滝下幸栄（京都府立医科大学） |
| | 12:05～12:35 | 【休憩】（総会） |
| | 13:10～14:00 | 【教育講演 2】 「京都における看護の高等教育始動」 －京都市立看護短期大学設立過程と創設時の教育－ 植村小夜子（滋賀県立大学） |
| | 14:05～16:20 | 【口演 9 題・示説17題】 |
| | 16:40～18:20 | 【テーマセッション 2 題・理事会セッション 3 題・ 研究推進委員会ワークショップ 1 題】 |
| | 18:40～ | 【懇親会】 |
| 9 月 1 日 (日) | 10:00～11:00 | 【歴史講演 1】（市民公開セッション） 「新島八重の生涯－大河ドラマのウラ・オモテ－」 本井康博（元同志社大学） |
| | 11:00～11:50 | 【歴史講演 2】（市民公開セッション） 「篤志看護婦人会と新島八重」 川原由佳里（日本赤十字看護大学） |

◆学術集会参加・懇親会申し込み

事前参加申し込みをされた方には抄録集を8月中旬頃にはお届けする予定です。また、この会報がお手元に届く頃（7月13日（土）以降）には、事前参加申し込み受付は締め切っているかと思っておりますので、参加いただく場合は、当日受付でお願いします。名札と抄録集をお渡しいたします。学生参

加も当日のみの受付となります。受付時に、学生証の提示をお願いします。

また、懇親会を8月31日（土）に京都府立医大附属病院内レストラン・オリゾンテ（京都ホテルオークラ）で予定しております。会費は当日徴収させていただきます。ぜひ、ご参加よろしくお願ひいたします。

| | 会 員 | 非 会 員 | 学 生（院 生 除 く） | 懇 親 会（8月31日） |
|------|--------|--------|--------------|----------------|
| 当日受付 | 8,000円 | 9,000円 | 2,000円 | 4,500円（会員・非会員） |

◆一般演題（口演・示説）について

一般演題は口演9題、示説17題の計26題を予定しております。たくさんのご応募ありがとうございました。看護の方法、看護と戦争、助産の歴史、地方における看護職の活動や教育史、海外の看護歴史等、内容も多岐に渡っており、いずれも興味深いご発表になることと思います。

◆テーマセッション・理事会セッション・ワークショップについて

テーマセッションは2題、理事会セッションは3題、そして研究推進委員会からワークショップ1題を予定しております。

テーマセッションの「看護は重度認知症ケアの現場を変えられるのか」では、認知症ケアの歴史からケアのあり方を、「京都市高等看護学院の教育」では、教育講演2に続き、京都市立看護短期大学の前身校である京都市立高等看護学院における看護教育について検証していただきます。

恒例の理事会セッションでは、まず「2012年度看護界の出来事から：特定能力認証制

度から特定行為に係る看護師の研修制度へ」を予定しております。このテーマは、数年前から継続的に理事会で取り組まれていますが、歴史的視点に立って、これから先を見据えようとするものです。2つめは「日本看護歴史学会の証言」です。ご挨拶でも述べましたが、本学会は早くも27回目を迎えました。回を重ねる毎に、初期の頃の本学会やその後の歩みについての記憶が薄れているのでは、ということで、京都での開催を機に、今一度、本学会の足跡を辿ることとなりました。今回は1回目ということで、学会設立の経緯を辿ります。その頃をご存知の方々から、当時の秘話をお聞きできればと期待しております。3つめは、「戦争と看護」をテーマに、聖路加と日赤の活動からお話しいただく予定です。

研究推進委員会によるワークショップでは、昨年の学術集会と同様に、平尾真智子氏を講師にお迎えして「看護歴史研究の基礎 第2弾」を予定しています。

いずれも、熱いディスカッションを期待しております。

| | テーマ | 話題提供者・講師・司会 |
|----------|--|---|
| テーマセッション | 看護は重度認知症ケアの現場を変えられるのか －看護学生の重度認知症高齢者尾への関わりから－ | 話題提供者 佐々木秀美 (広島文化学園大学) 風間 栄子 (広島文化学園大学) 司 会 加藤 重子 (広島文化学園大学) |
| | 京都市高等看護学院の教育 －1950年～1955年の教育－ | 話題提供者 福本 恵 (元京都府立医科大学) 司 会 大平 政子 (中京学院大学) 植村小夜子 (滋賀県立大学) |
| 理事会セッション | 2012年度看護界の出来事から －特定能力認証制度から特定行為に係る看護師の研修制度へ－ | 話題提供者 日下 修一 (獨協医科大学) 川嶋みどり (日本赤十字看護大学) |
| | 日本看護歴史学会の証言 (その1) 学会設立の準備活動から活動開始数年後までの経緯 | 話題提供者 山本 捷子 (本学会前理事) 高橋みや子 (本学会監事・宮城大学) 司 会 山崎 裕二 (日本赤十字看護大学) |
| | 戦争と看護 －聖路加と日赤の活動から－ | 話題提供者 渡部 尚子 (聖路加看護大学歴史編纂室) 吉川 龍子 (日本赤十字看護大学史料室) 司 会 川嶋みどり (日本赤十字看護大学) |
| ワークショップ | 理事会研究推進委員会 看護歴史研究の基礎 第2弾 －看護歴史研究の方法論 第2弾－ | 講 師 平尾真智子 (順天堂大学医学部医史学研究室) 司 会 丸山マサ美 (九州大学) 滝内 隆子 (岐阜大学) |

◆お問い合わせ (右の写真は、京都府立医大の旧図書館)

〒602-0857 京都市上京区清和院口寺町東入る中御霊町410
 京都府立医科大学医学部看護学科内
 日本看護歴史学会第27回学術集会事務局
 TEL & FAX 075-212-5442
 Email krekish@cmt.kpu-m.ac.jp
 学会HP http://www.krekishi27.org



第28回学術集会の開催について

第28回学術集会長 滝内隆子

第28回学術集会は、2014年9月6日（土）・7日（日）、岐阜大学（岐阜）で開催します。今回の学術集会のメインテーマは「今、語りつぐ看護技術の教育」です。

近年、看護基礎教育の卒業時における学生の看護技術力の低下と併せて看護教員の看護技術力の低下が指摘され、これらの解決策として学内演習における臨床看護師との協働による看護技術教育の実施が厚生労働省から打ち出されています。しかし、本来、教育内容に責任のある教員には、学生にモデルとして提示できるだけの看護技術力が備わっているべきだと考えています。そこで今回、教員・学生ともに高い看護技術力が備わっていたと考えられる占領期に看護技術の教育を受けた方々を始めとして、その

教育を受け継いでこられた先輩諸氏に、これからの看護技術教育への示唆を含めて語り継いで頂きたいと思っております。

また、岐阜の地で日本看護歴史学会を開催するのは初めてです。そのため岐阜県の特徴が出るように「鶴飼い」、「内藤記念くすり博物館」に関する内容、学校看護婦としての「廣瀬ます」のことも含めて「岐阜県における養護教諭の歴史」等も企画しております。

日本一暑い市で有名な多治見市も岐阜県です。学術集会開催日は9月とはいえ、まだまだ残暑厳しい岐阜ですが、夕涼みに鶴飼舟に乗船して「鶴飼い」を鑑賞する楽しみもあります。一人でも多くの方々のご参加・発表をこころからお待ちしております。

新入会員紹介(敬称略)

* () 内は会員番号 平成24年12月～平成25年6月入会

| | |
|---------------|---------------|
| 田島真智子 (13001) | 市川 恭子 (13002) |
| 前田 修子 (13003) | 岡野 孝信 (13004) |
| 服部 佳代 (13005) | 長田登美子 (13006) |
| 渡辺 弥生 (13007) | 熊澤 恵美 (13008) |
| 平澤 園子 (13009) | 木村 恵子 (13010) |
| 山田 円香 (13011) | 松田 武美 (13012) |
| 留田 由美 (13013) | 中島 久美 (13014) |
| 加藤 重子 (13015) | 下里志寿子 (13016) |
| 大橋 明子 (13017) | 遠矢 早苗 (13018) |
| 相楽 有美 (13019) | 飯野矢住代 (13020) |
| 菊地 頌子 (13021) | 加藤 欣子 (13022) |
| 田中 歌子 (13023) | |

お知らせ

■事務局から

平成24年度会員動向(平成25年3月31日現在)

| | |
|-------------------|------|
| 1. 会員数(特別会員1名を含む) | 346名 |
| 2. 入会者数 | 41名 |
| 3. 退会者数 | 24名 |

会費納入のお願い

平成25年度会費(6,000円)をまだ納入されていない会員の方はすみやかに納入をお願いいたします。事務局からお送りした払込取扱票を紛失された場合は、郵便局にある払込取扱票に口座番号「01010-1-52185」、金額6000(ただし、2年分未納の場合は12000)、加入者名「日本看護歴史学会」、通信欄に「会員番号」、ご依頼人の欄に「郵便番号・住所・氏名・電話番号」をご記入いただき、窓口かATMで払い込みください。3年間会費滞納の場合、退会となり会員資格を失いますのでご注意ください。

所属・住所変更や退会の場合

所定の変更届や退会届(本会ホームページからダウンロードできます)を事務局にご提出ください。

学会誌投稿論文の送り先

投稿論文の送り先は事務局(日本赤十字看護大学)で

はありません。また、編集担当の田中幸子理事の所属が変更になりましたので、送り先は、〒182-8570 東京都調布市国領町8-3-1 東京慈恵会医科大学医学部看護学科 田中幸子(日本看護歴史学会誌編集委員会)宛となります。お間違えのないようお願いいたします。

学会誌バックナンバーの販売

事務局が保管している学会誌と学術集会講演集のバックナンバーを会員・一般の方に販売しています。詳しくは学会ホームページをご覧ください。

編集後記

今回の会報は、間近に迫ってまいりました第27回学術集会のお知らせが中心となっております。今年の学術集会は、NHK大河ドラマ「八重の桜」ゆかりの地でもあります、京都での開催です。タイムリーなプログラムも満載です。皆様、ぜひご参加下さい。

(会報担当：小田・鷹野)

日本看護歴史学会会報 第60号

企画・編集 小田 正枝(国際医療福祉大学)
鷹野 朋実(日本赤十字看護大学)

発行責任者 山崎 裕二(日本赤十字看護大学)

印刷 有限会社 新和印刷

事務局 〒150-0012

東京都渋谷区広尾4-1-3

日本赤十字看護大学

山崎 裕二

TEL 03-3409-0613

e-mail yamazaki@redcross.ac.jp

川原由佳里

TEL 03-3409-0185

FAX 03-3409-0589(代表)

e-mail kawahara@redcross.ac.jp

学会HP <http://plaza.umin.ac.jp/~jahsn/>